

ハタチの決意

代表者宣誓（全文紹介）
代表者 荒牧 美咲さん



本日は、成人を迎えた私どもの門出に対し、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。草村町長様をはじめ、ご来賓の方々からお祝いや激励のお言葉をいただき、ご出席いただきました皆様、心より感謝申し上げますと共に、新成人一同厚くお礼申し上げます。

さて、今日で正式に皆様方の仲間入りをさせていただくこととなりましたが、成人式という大きな通過点を迎えることで、やっと大人としての自覚が出てきたように感じます。私たちがこの日を迎えられたのは、今まで温かく育み、支えてくださった地域の方々や家族、共に高めあってきた友人、いろいろとご指導していただいた恩師の存在があつてのことだということを忘れてはなりません。普段なかなか感謝の気持ちを伝える機会が少ないからこそ成人を迎えた

今、改めて感謝申し上げます。

私事ではありますが現在短期大学に進学しており、今後短期大学を卒業した後、編入し、さらに二年学業に専念し、小学校教師の夢に向かって、これまで以上に、勉学にも部活動にも力を入れて頑張りたいと思います。

私どもは、今日の来るのを心待ちにしておりました。早く社会人の仲間入りを果たし、更に研鑽を重ね、私たちを育ててくれた社会にできる限りの恩返しができると思います。これから私たちが支える役割を担うことから、今まで磨き重ねてきた英知を活かし、責任ある行動と人を思いやる優しい心を持ち、社会に貢献していきたいと考えています。人生の先輩方、これからもご指導、ご鞭撻の程よろしく願います。

最後に、高森町の今後の更なる加速と発展を祈念いたしまして成人者代表宣誓と致します。

平成三十一年一月三日

新成人代表 荒牧 美咲



8年前、高森中央小学校では、学級会で決めた「思い出プロジェクト」の一環としてタイムカプセルを埋めました。8年後の自分へ宛てた手紙やメダルや日記など当時大事にしていた思い出の品々を手にとり、懐かしそうに手に取る成人者。



当時、この学年を知る今村愛先生は、「学級会という話し合いの場をとっても大事にする学年でした。『一生懸命はかっこいい』を後輩に見せることのできた学年」と振り返りました。

高森東小学校で担任をしていた本田幹雄先生は、8年振りにあつた教え子のことを「面影がある子もいたけど、成長して誰だかわからない子もいました」と笑いながら話しました。また「下級生の面倒もきちんと見ることができ、夢にむかって頑張っていた子たちでした」と立派に成長した教え子の当時の様子を話しました。

普段は成人者のほとんどが町外で暮らしていますが、この日は懐かしい恩師や旧友とひととき思い出話に花を咲かせました。

地域福祉に大きく貢献

ボランティア功労者賞

昭和45年の設立以来、高齢者宅への訪問、地域児童の登下校見守り、小中学校との交流など広範囲に及ぶボランティア活動により町の地域社会づくりに大きく寄与したとして、高森町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰を受け、その伝達式が行われました。本田英明会長は、「地域で輝ける老人クラブにしていきたいです」と将来の展望を描きました。



1月7日(月)

全国が注目！

「教育の情報化」研究発表会

文部科学省委託事業として、ICT環境を活かした研究・成果を発信する目的で高森中央小学校と高森中学校で公開授業を含む研究発表会が開催され、全国から約400人の教育関係者が視察しました。

2020年から小学校では必修化となることからプログラミング授業は特に注目度が高く、教室に詰めかけた教育関係者が興味深そうに授業の様子を見守りました。

また、モニターを使って離れた場所と合同授業を行う遠隔授業にも多くの関心が寄せられました。福岡県からの参加者は「福岡県でもICT環境が整っている

学校はまだまだ少ないです。離れているのに同じ空間で学んでいるかのようで違和感がなかったことにおどろきました。（自分が）使いこなせるか心配です」と話しました。



1月11日(金)

たかもりタウン TOPICS

トピックス

爆ぜる竹で厄払いどんどや

旭通りのどんどやは、30本と例年よりも少ない本数の竹でやぐらを作りました。やぐらを作る担い手の高齢化が進み負担軽減が狙いです。どんどやに参加する地域の子どもの数も減少の一途をたどっています。この日は多い時で2、3人と子どもの賑やかな声はきこえなかったものの、地域住民は餅や酒などを持ち寄り、暖を取りながら楽しんでいました。



1月13日(日)